

プロジェクトの進め方

No. 223

目的

プロジェクト運営必須のマネジメントスキルとマインドを学ぶ
生産的な会議の進め方を身に付ける
コミュニケーション力の重要性を理解し人間関係を改善する

特長

一度体験すれば即日応用可能な会議の技術
プロジェクト関係者の立場や役割を理解し、即応用可

対象 チームリーダー、プロジェクトリーダー・管理職
(最適人数 10数名 ~ 最大 30名程度)

Table of Contents (Total 6H ~ 7.5H)

イントロダクション

研修体系における本セミナーの位置づけと役割
セミナーの目的、内容、進め方およびゴール

1 マネジメントの基礎

マネジメントとは何か？ 求められる成果と役割
マネジメントの3のスキル(THC)
代表的リーダーシップのスタイル
(浪花節型、無関心型、権力型から理想のスタイルへ)

2 参画的ブレイン・ストーミング

ブレイン・ストーミングとは？
ブレイン・ストーミングの問題点
パルス討論(探検ネット)で、参画的に意見交換
メンバー全員で共通認識

3 コミュニケーションの種類と原則

コミュニケーション不全の4つのパターン
伝わるための、たった一つのポイント
人間力の発揮(誠実さと共感力)
ラポート(信頼関係を築くコミュニケーション)

4 人間関係力でプロジェクトを動かす

ヒューマン・マネジメントで成果を生もう
人材評価の注意点
ヒューマン・ダイアグラムで人間関係の調整を

振り返りとまとめ

反省点および達成度の確認
気づきとアンケート

発想力と発想会議

No. 224

目的

短時間で多様なアイデアを生み出す技術を練習する
生産的な会議の進め方を体験する
短時間で現状把握・問題発見する技術を学ぶ

特長

野外科学の元祖・川喜田二郎が提唱する取材学の基礎
川喜田二郎が開発したブレイン・ストーミング術を体験

対象 営業、顧客対応、チームリーダー、管理者
(最適人数 10数名 ~ 最大 30名程度)

Table of Contents (Total 6H ~ 7.5H)

イントロダクション

研修体系における本セミナーの位置づけと役割
セミナーの目的、内容、進め方およびゴール

1 記録力

情報収集の原則：内部探検と外部探検
点から線へ、線から面へ。野外科学の点メモ技法
感情と思考の見える化
記録を使って、記憶を整理

2 "実践"「発想力」

「気持ちや考えを発散させる」
「問題点を見つけ出す」
「対応策を考える」

3 参画的ブレイン・ストーミング

ブレイン・ストーミングとは？
ブレイン・ストーミングの問題点
パルス討論(探検ネット)で、参画的に意見交換
メンバー全員で共通認識

4 "実践"「発想会議」

「意見を発散させる」
「問題点を見つけ出す」
「対応策を考える」

振り返りとまとめ

反省点および達成度の確認
気づきとアンケート